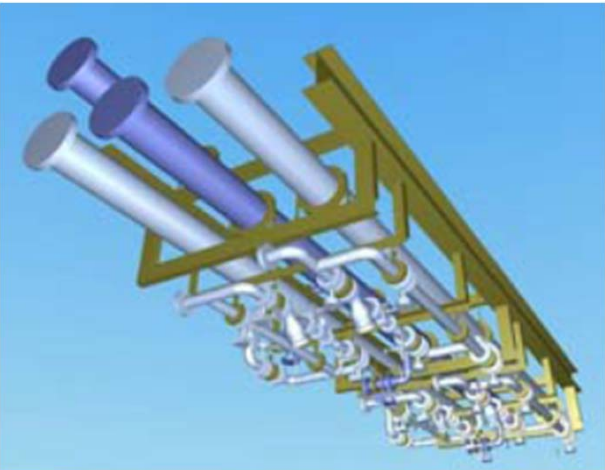


水平配管ユニット工法（レベルライザー、配管リフトアップ、配管スライド）

写真・イメージ	概要（効果・特徴・メリット等）														
	概要	<p>【レベルライザー工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ライザー工法の横バージョン <p>【配管リフトアップ工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 横引き配管を架台でまとめユニット化、配管群まとめて施工。 狭隘な設備メイン配管密集箇所において、配管ユニットを電動チェーンブロックにてリフトアップする工法 <p>【配管スライド工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> レベルライザーのトレンチ配管バージョン 													
	工程	<table border="1" data-bbox="947 496 1456 616"> <thead> <tr> <th>設計</th> <th>躯体施工</th> <th>内装施工</th> <th colspan="2">外構施工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>				設計	躯体施工	内装施工	外構施工		○	○	○		
	設計	躯体施工	内装施工	外構施工											
	○	○	○												
	効果	<ul style="list-style-type: none"> ■現場工数削減 ■工期短縮 ■配管接合部の品質の確保 ■運搬、高所作業の低減 <table border="1" data-bbox="947 770 1583 887"> <thead> <tr> <th>Q</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>S</th> <th>E</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>△</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				Q	C	D	S	E	○	△	◎	○	○
Q	C	D	S	E											
○	△	◎	○	○											
備考 注意事項	<p>【レベルライザー工法】 （設計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニット重量が設計よりも大きくなることによる構造対応。 ユニット製作後の設計変更対応に困難な場合があり、変更に対する容易性の検討が必要。 配管架台と小梁の兼用が効率的（設計時点で検討） <p>（施工）</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築計画に早期にユニット化を盛り込み、建築工程の見直し。 各ユニット間の接続用現地太鼓管が必要。 水平ユニット取付後に小梁が取り付けられるか検討しておく必要がある。 <p>【配管リフトアップ工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> リフトアップ用の架台が必要なため、配管に一定以上のボリュームがあれば有効。 <p>【配管スライド工法】</p> <ul style="list-style-type: none"> トレンチ内の大型配管がある物件に適用。 														
適用範囲 仕様	<ul style="list-style-type: none"> 平面の大きい物件に有効（横引きが長い） 大口径、配管重量のある冷温水などのメイン配管 														
用途	全て（生産施設、データセンター、大型事務所など）														